

南京市小紅花芸術団との 交流会が実現



芸術団の剣舞

南京市対外交流協会とアジア友好協会が主催して、南京市小紅花芸術団が3月10～19日の10日間、東京、大阪、名古屋各地で公演を行いました。

この間、対外交流協会から、愛知淑徳高校は、修学旅行で南京、南京市と姉妹提携を結び、交流を大成功させたという。交流会は、この機会を利用して、芸術団との交流会をもつてもらえないか」との連絡が入りました。南京市と名古屋市の友好都市で締結25周年という記念すべき節目でもあるため、喜んで申し入れを受け入れることとなり、3月17日(火)に実現の運びとなりました。

芸術団は中国国内でも高い芸術性を誇る9～12才までの少女少女の集団です。今回の訪日団はこの中から16人の団員と、陳さん(南京)と16人の随行員から構成されています。たまたま17日は中・高とも学年末の休業日でしたが、中学生を中心に高校生も交えて150名以上の生徒が参加し、本校大会議室A・Bを会場に、午後3時から約1時間30分の交流会を楽しみました。

本校からは中学生徒会執行委員会の5人が交流会の進行をつとめ、開式・歓迎挨拶・交流・記念品交換・閉式までを立派にとり仕切りました。芸術団の皆さんは約20分間にわたって声楽、胡弓演奏、剣舞を披露してくれました。その技術の高さと愛らしい仕様に、



芸術団の声楽

集まった本校生徒の間から感嘆のため息と拍手がわきあがりました。本校からは、文化クラブの中でも長い歴史と伝統を誇るキターマンドリン部が、さくら奇想曲」を演奏をして、交流会は盛り上がりしました。ささやかな交流ではありましたが、本校でも着実に国際交流の輪が広がっていることを実感できる1日となりました。



バスから降り立った芸術団の少年少女

社会に飛び出して 生きた社会勉強を行う サークル「A.S.U.」



A.S.U.はアトラクティブ・システム・デント・ユニバーシティの頭文字を取ったサークル名で、意欲的な学生の大学という意味です。一昨年、コミュニケーション学部ビジネス・名古屋大学経済学部の山田教授のゼミの学生が行った企業研究の合同ゼミが発展し、A.S.U.として創部。現在は淑徳、名古屋、南山、中京の4大学が核となり、学生間のネットワークを作っています。メンバーは約30人。A.S.U.は、学生が社会人と接して生の社会勉強をすることを目的としています。主な活動は、3、4人の学生グループが特定企業について調査分析し、企業を訪問してその結果と問題提起を行う企業研究。その企業研究を集

約して一般向けに公開する企業フォーラム。ほかに産業空洞化セミナーなどのイベントもありません。いずれも学生が主体となり、企画立案から開催までを自主的に進めます。真田教授は学生の自立性を養うため、A.S.U.にはあくまでアドバイザー役で関与。「学生が社会へ出る前に、社会と接点を見つけてながら勉強していくことが大切だと思います。私は



コミュニケーション学部ビジネスコミュニケーション学科 真田幸光教授

現在、170社ほどで企業アドバイザーを行っています。企業の人事担当者は学力より、学生のポテンシャルと礼儀を重要視しているようです。そのため、社会との接点を作り、学生に多くの経験をさせたいと思っています。真田教授は企業アドバイザー、企業や自治体等で講演を行うとき、ゼミ生を参加させることもあ

るそうです。学生にとっては学内では経験できない貴重な社会勉強になっているようです。A.S.U.参加2年目の後藤さんは、1月に行われた企業フォーラムの司会を務めました。自分はまだ未熟だと思いましたが、一つ一つの準備を上げていくことは大きな手応えがあり、いい経験となりました」と、A.S.U.での成果を話してくれました。



ビジネスコミュニケーション学科 4年 後藤洋一さん

愛知淑徳大学 なぎなた部

創部14年目を迎えた「なぎなた部」は、OBにインカレ優勝者がおり、現在も部員が全国大会で入賞するなど、着実な活動を続けています。

クラブの活躍

大学	
フィギュアスケート部	第32回中部学生氷上競技大会(11/17 港区・邦和スポーツセンター) 3・4級クラス女子2位 河合ふみ乃
なぎなた部	第2回全日本男子なぎなた選手権(11/30 鳥取県武道館) 演技試合4位 江本光晴
社交ダンス部	第47回冬季全日本学生競技選手権大会(12/15 千葉・船橋アリーナ) フォーメーション戦準優勝 学年別戦(2/2 愛知大学豊橋校舎) 団体戦3位
高等学校	
水泳部	新年フェスティバル水泳競技大会(1/19) 日本選手権の標準タイムを突破 2年 竹迫麻貴、川口花織 *日本選手権大会出場決定 愛知県短水路選手権(2/9~11) 標準タイムを突破 2年 竹迫麻貴、川口花織 1年 白田奈奈子、外山恵里、田中あゆみ、落合幾子、間瀬礼奈、橋本麻央 *全国ジュニアオリンピック出場決定
バドミントン部	学年別大会(1月上旬~) 個人戦ダブルス準優勝 2年 鈴木梨恵、加藤友紀乃組 個人戦シングルス準優勝 2年 加藤友紀乃
ソフトテニス部	東海高校選抜大会(1/18、19) 団体の部優勝(2年 渡部真澄、日馬聡美、森紗優里、佐藤香代子、薄良美) 1年 大杉紗織、西村聡子、高倉真美) *春の全国選抜大会出場決定 個人戦準優勝 2年 渡部真澄、佐藤香代子組
バントフライング部	第30回マーチングバンド・バントフライング全国大会(1/12) 銀賞 第28回バントフライング選手権東海大会(2/9) 上級ダンスワール決勝個人1位 1年 中川笑
スキー部	インターハイ愛知県予選(1/3~6) 大回転第5位 2年 加藤幹菜 団体予選(1/17~19) 大回転第4位 2年 加藤幹菜 *中部大会出場権獲得
放送部	愛知県高校放送コンテスト・ジュニア大会(1/13) 朗読部門最優秀 1年 岡部愛実 アナウンス部門入選 1年 岡本麻未 努力賞 1年 加藤万貴
中学校	
バント部	第30回マーチングバンド・バントフライングコンテスト全国大会(1月) トフライング部門中学生の部 金賞 第28回全日本バントフライング選手権東海大会(2月) 上級ソロワール 金賞 2年 深谷美海
ギターマンドリン部	第20回東海選別ギターマンドリンフェスティバル(2月) 優秀賞
その他	平成14年度愛知県私学読書感想文コンクール(2月) 中学生の部 最優秀 類 3年 小久保敦子 優良 類 3年 加藤百合 英検準1級合格(3月) 2年 田中中文伊 第21回全日本スノーボード選手権大会全国大会(3月) ハーフパイプユース女子の部優勝 1年 杉山文菜



なぎなた部昨年度部長 清島美香さん

「なぎなたとはどんなスポーツ? とよく聞かれ、女性のためのスポーツ? 刃は本物? など、まだまだ認知度が低いようなので、初めに「なぎなた」がどんなスポーツかを説明させていただきます。なぎなた競技は、「演技」と「試合」の2つの競技から成り立っています。演技競技は、2人1組の演

技者で、定められた8つの形の中間から指定された3つの形を行い、その技の優劣を競うものです。「試合競技」は、剣道のような防具を着け、1対1で定められた部位を打突し、確実な打突を2本先取した方が勝ちとなります。見た目は剣道に似ていますが、打突部位として、すねがあること、やなぎなたの長さゆえ構えが「半身」あること、技の大きさが大きな違いになります。そんなスポーツ(武道)を行っているのが、創部14年目の私達、愛知淑徳大学なぎなた部です。創部当初は弓道部との兼部でスタートし、初心者ばかりの部活でしたが、現在では団体出場者のコーチや全日本学生大会(インカレ)優勝者のOBなど、実力のある卒業生の先輩方から指導を受けることができようになり、練習は週3回程度行っています。そして「なぎなた」は武道であり対人競技であるということからも、礼儀を重んじ、相手を尊重することを大切にしながら、部員数10人程度の少人数で、アットホームで、のんびりとした活動を行っています。なぎなたは、年齢に問わず、動きと技で、男女問わず、生涯続けていけるスポーツです。これから和気あいあいとした雰囲気大切にしながら、卒業生も気軽に顔を出せ、一緒に活動していけるようなクラブにしていきたいです。(愛知淑徳大学なぎなた部 清島美香)